

【東北関東大震災、原発危機で困難な日本を覚えて/第三週】

さあ、主に立ち返ろう。主は私たちを引き裂いたが、
また、いやし、私たちを打ったが、また、包んでくださ
るからだ。主は二日の後、私たちを生き返らせ、三日目
に私たちを立ち上がらせる。私たちは、御前に生きるの
だ。私たちは、知ろう。主を知ることが切に追い求めよ
う。主は暁の光のように、確かに現われ、大雨のように
私たちのところに来、後の雨のように、地を潤される。

ホセア6章1～3節

災害から二週間と数日が経ちました。生活物資も徐々に被災地に届くようになって来ているなか、相変わらず寒さと燃料不足の中で、体力低下、発病という状況の方々も多く出ています。さらに心のケアの必要が大きくクローズアップされ始めています。

福島第一原子力発電所の核汚染拡散防止のためのあらゆる手段がなかなか前進しない、とう状況が続いています。そのような中で、もう一つの福島第一……つまり福島第一聖書バプテスト教会の信徒の方々は、家も教会も追われ、全国散り散りになって避難生活をしておられますが、なんと、行く先々で恵みを拡散しながら進まれている様子が伝えられて来ています。（教会の方が原発よりも先に存在していました。）

また、3/22の佐藤彰先生の「避難生活報告」その7には震災前に先生が著した『順風よし、逆境もまたよし』とう本が出来上がったという報告が出版社から届いたとのことですが、この本が多くの人に読まれるようになることは必至ですね（<http://f1church.com/>）。

ステパノの殉教の死に伴い、迫害を逃れるためにキリスト者たちがエルサレムから散らされたことが、生まれたばかりのキリスト教を世界中に散らす起爆剤になったのと同じことがここでもなされていると先生方は感じておられています。彼ら自身が被災者であるからこそ、他の被災者達に訴える特別な立場を持っていることを思う時、被災しなかった私たちには、被災したクリスチャンたちをサポートする、とう新たな目標が与えられているように思います。 牧師

※FACEBOOK等で実際に被災地へ救援物資を搬送している報告などがどんどん伝えられて来ています。そして日本人の多くは決まって「祈っています」と言います。是非、本当の神様を知って貰いましょう！



【祈り】

- **主権者であり、全知全能の神、同情なざる主イエスを覚えましょう**
 - ・神はこの震災の中から、必ず良いものをもたらしてくださることを信じ、先取りの感謝をしましょう。
 - ・神は今困難の中にある人の葛藤や悲しみ、絶望を一切ご存知であり彼らの全ての痛みを感じ、同情されていることを感謝しましょう。
- **被災者・被災地のために祈りましょう**
 - ・水、食糧、被服、その他の物資の援助が速やかになされるよう。
 - ・被災者たちの健康と心身が保たれ、必要な栄養、治療が受かれ、さらに霊的な慰めと励ましがあるように。
 - ・ライフライン（水道、電気／ガス、交通、情報）の復旧、地域の復旧のため。
- **原子力発電所の危機回避の成功、そのために働く人々のため**
 - ・福島第一原発の放射能漏れの問題が早期に解決するように。
 - ・放射能により汚染された地域の方々の生活が保たれるように。
- **行政・関係省庁の働き人、原発、日本のビジネス・産業のために**
 - ・首相／内閣、関係省庁、地方の行政に携わる方々のために。
 - ・自衛隊、警察、消防、医療関係者のために。
 - ・ライフライン復旧工事のために働く全ての人々のために。
 - ・復旧・復興の支えとなる日本の全てのビジネス・産業のために。
- **被災地の教会のため、日本の教会のため**
 - ・被災地のクリスチャンたちが強められ、散らされた場においても希望を保ち続けることが出来、回りの人をも強められるように。
 - ・被災地の教会が守られ、早期に復旧することができるように。
 - ・被害を免れた日本の諸教会が心を合わせて祈り、キリストの手足となって人々の霊的必要、具体的な必要に応えられるように。
 - ・海外日本人教会も教派を越え、心を合わせて執り成しの務めを果たし続けることができるように。
- **日本人全体のために**
 - ・日本人が自らの生き方を省み、自分中心な空しい生き方を捨て、お互いに仕え合い、心も神様に開かれ、霊的な復興が与えられるように。
 - ・人々が心を閉ざすことなく、愛に生きられるように。
 - ・ボランティア等に携わる人々が目的を失わず、誘惑から守れるように。
- **私たちと直接関わりがある人々を覚えましょう**

【今週の英語】 *Rick Warren twitter page* より

Worry is practical atheism. It says you don't really believe your loving Heavenly Father will keep his promises to care for you.

心配は実践的無神論である。愛なる天の父が貴方を支えてくださるという約束を貴方が本音のところでは信じていないことを示しているからだ。

Illness begins with I, Wellness begins with WE, Healing begins with HE! 病は自分から、健やかさは私たちから、いやしは彼（キリスト）から。…頭文字に注目。